

5月定例記者会見要旨

定例記者会見をはじめさせていただきます。

沖縄地方は例年より1週間ほど遅い梅雨入りとのことで、これから入梅を控え早苗の成長に目を見張る日々となっていますが、今月の記者会見も本年最初のクールビズとなりますので、よろしく申し上げます。

これから梅雨の季節へと向かっていき、ゲリラ豪雨をはじめとした自然災害が心配となってまいります。本年も、市民生活をはじめ農業活動などに影響を及ぼす災害のない、豊作の年を迎えられる事を強く願わずにいられません。

あの忌まわしい熊本地震の2度目の最高震度7を記録した本震の日からちょうど1か月後の5月16日、茨城県南地方を震源とした大きな地震が発生し、小美玉市で震度5弱の最大震度を記録しました。龍ヶ崎市を含め、広い範囲で震度4となりましたが、幸い本市での大きな被害の報告はありませんでした。この地震も、熊本地震同様、いっどこでも大地震が起こりうる地震列島日本の恐ろしさを思い知らされ、防災対策の重要性を再認識させられる地震となりました。

1か月が経過した熊本では、未だに余震が続き、いまだ避難者が約1万人、避難所も200を超すということです。長引く避難生活の中で、関連死なども心配されていますが、暑さも増しており、感染症や食中毒などの衛生面、さらには精神・保健医療面からの支援の必要制が増しています。

前回の会見では、職員による熊本県大和町への支援隊の報告をさせていただきましたが、そのような中、龍ヶ崎市の保健師が、茨城県の支援隊のひとりとして派遣されました。ちょうどゴールデンウィークと重なりましたが、熊本県大津町の避難所での一週間の支援活動報告を、後ほどさせていただきます。

また、市社会福祉協議会の義援金活動や、市職員による義援金活動も含め市民からの支援の思いも届いており、支援をした自治体などとも連絡を取り合いながら、茨城県とも連携しながら引き続き復旧・復興に向けた支援活動を続けてまいります。

それでは、本日の情報提供を始めさせていただきます。

はじめに、企画課から「JR常磐線佐貫駅ご当地発車メロディー募集」についての情報提供であります。

これは、市民の皆様や龍ヶ崎市を訪れた方々に親しみをもってもらうとともに、市のイメージアップを図ることを目的として、JR常磐線佐貫駅の発車メロディーをご当地の発車メロディーに変更するための楽曲について募集を行うものでございます。

楽曲の募集にあたりましては、本市のイメージアップを図ることから、龍ヶ崎市をイメージさせるもの、あるいは龍ヶ崎市にゆかりの作曲家や作詞家、歌手に関するものとし、駅のホーム数に基づき、3つの楽曲を募集いたします。

応募いただいた楽曲は、6月下旬頃から龍ヶ崎市音楽協会の方々などに参加をいただき開催する「(仮称)龍ヶ崎市JR常磐線佐貫駅ご当地発車メロディー選考会議」で楽曲の選考を行い、候補楽曲を決定してまいります。その後、駅で使用するための音源(15秒程度)に制作(アレンジ)し、7月下旬頃を目途に、東日本旅客鉄道株式会社水戸支社に対して、音源の提出及び発車メロディー変更の協議を依頼してまいります。

なお、ご当地発車メロディーの使用開始日につきましては、東日本旅客鉄道株式会社水戸支社との協議や、発車メロディー変更の協定締結、施行工事などを踏まえ、平成29年4月頃を目標に進めていく予定としています。

最後になりますが、ご当地発車メロディーの楽曲は、市内外を問わず、どなたでも応募することができます。多くの方々から「龍ヶ崎市らしい楽曲」の応募をお待ちしています。

続きまして、危機管理室から2件の情報提供でございます。

はじめは、6月5日(土)、県内で初めてツイッターの活用による市民参加型訓練を実施してまいります。

東日本大震災の折、被災地からの救助要請など、災害関連情報の発信や共有に、大きな役割を果たした「ツイッター」について、その機能のひとつ「ハッシュタグ」を活用のうえ、災害発生場所に居合わせた人が、その状況と近くのランドマークなどを記したり、または写真を撮ったりしたうえで、ツイッターに投稿することにより、その場所を所管する自治体やその他多くの市民などが、災害情報を効率的に共有するための運用が、埼玉県和光市などの先進自治体において始まり、その訓練などで一定の成果が得られているとの事例がございます。

本市におきましても、「ツイッターのハッシュタグ機能」を災害情報の収集と共有手段のひとつとして活用することを目的に、この4月8日に「龍ヶ崎市災害用ハッシュタグ運用基準」を定めたところでもございます。

2件目は、同じく6月5日(日)に、国土交通省・気象庁・自衛隊・警察消防等8機関の協力により「平成28年度龍ヶ崎市合同防災訓練(水防訓練)」を、先ほど情報提供いたしましたツイッター活用による災害情報の共有を行いながら、実施してまいります。

この水防避難訓練の必要性は、極めて重要な訓練であると位置付け、3年前から実施について指示していたところでありましたが、平成27年9月の関東東北豪雨も踏まえ、当市は現在策定中の小貝川・利根川洪水避難計画

(案)の検証を目的に本訓練を実施するものでございます。

なお、この訓練での検証を目的に、小貝川・利根川の両河川流域の自主防災組織をはじめ、市議会議員、稲敷地方広域市町村圏事務組合内の市町村防災担当者および各消防団の皆様研修をお願いしているところでもございます。

本訓練の検証結果は、避難計画に反映するなど、深化させていきたいと考えています。

続きまして、こども課からの情報提供でございます。

「子育て環境日本一」を目指す本市の新たな取り組みとしたしまして、6月27日(月)、JR佐貫駅東口に「龍ヶ崎市駅前こどもステーション」をオープンいたします。

鉄道等を使用し通勤しながら、お子さんが保育所等に通園され、通勤時間等の関係で、保育所等への送迎が難しい保護者の皆様への新たな取り組みとしたしまして、保育所等の開所時間外であるお子さんを一時お預かりし、各施設の開所時間に合わせてバスにより送迎を行い、保護者の皆様の負担軽減と保育需要の地域的偏在による保育所等の入所者数の不均衡の軽減を図っていく、子育て環境の更なる充実に向けた新たな取り組みでございます。

また、本ステーションでは送迎業務の他、子育て相談や情報の提供、親子が集える交流の場を提供する「子育て支援センター」の二つの機能を持った新たな子育て支援施設でもございます。

この取り組みは、小さなお子さんを持つ方々やこれから結婚し、子どもを持つ若者達の定住促進にも寄与する本市の新たな魅力の一つとなる取り組みと大きな期待を寄せているところであり、これまで進めてきているシティプロモーション活動における本市の新たなアピールポイントでありますので、大いに本市PRにも活用してまいります。

以上で、本日の情報提供を終わりとさせていただきます。なお、詳細につきましては、このあと担当から説明させていただきます。